

令和3年11月30日

令和2年国勢調査 人口等基本集計 結果の要約

我が国の人口は1億2614万6千人（2020年（令和2年）10月1日現在）
2015年に引き続き減少（2015年から0.7%減，年平均0.15%減）

- 2020年10月1日現在における我が国の人口は1億2614万6千人。2015年と比べると、人口は94万9千人の減少（2015年から0.7%減，年平均0.15%減）
- 総人口を男女別にみると、男性が6135万人，女性が6479万7千人。女性が男性より344万7千人多く，人口性比は94.7

図1 人口及び人口増減率の推移（1920年～2020年）

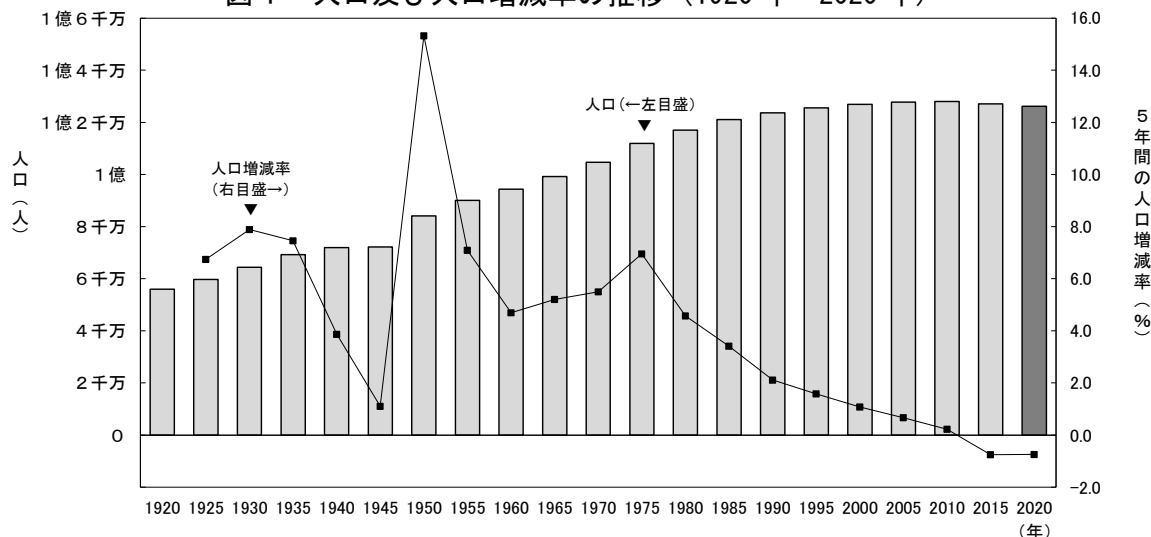


表1 男女別人口の推移（1920年～2020年）

年次	人口(人)			5年間の人口増減		年平均人口増減率(%)	人口性比
	総数	男	女	増減数(人)	増減率(%)		
1920年(大正9年)	55,963,053	28,044,185	27,918,868	—	—	—	100.4
1925年(14年)	59,736,822	30,013,109	29,723,713	3,773,769	6.7	1.31	101.0
1930年(昭和5年)	64,450,005	32,390,155	32,059,850	4,713,183	7.9	1.53	101.0
1935年(10年)	69,254,148	34,734,133	34,520,015	4,804,143	7.5	1.45	100.6
1940年(15年)	71,932,987	35,387,350	36,545,637	2,678,839	3.9	0.76	100.0
1945年(20年)	72,147,291	33,894,059	38,104,045	779,765	1.1	0.22	89.0
1950年(25年)	84,114,574	41,241,192	42,873,382	11,052,346	15.3	2.89	96.2
1955年(30年)	90,076,594	44,242,657	45,833,937	5,962,020	7.1	1.38	96.5
1960年(35年)	94,301,623	46,300,445	48,001,178	4,225,029	4.7	0.92	96.5
1965年(40年)	99,209,137	48,692,138	50,516,999	4,907,514	5.2	1.02	96.4
1970年(45年)	104,665,171	51,369,177	53,295,994	5,456,034	5.5	1.08	96.4
1975年(50年)	111,939,643	55,090,673	56,848,970	7,274,472	7.0	1.35	96.9
1980年(55年)	117,060,396	57,593,769	59,466,627	5,120,753	4.6	0.90	96.9
1985年(60年)	121,048,923	59,497,316	61,551,607	3,988,527	3.4	0.67	96.7
1990年(平成2年)	123,611,167	60,696,724	62,914,443	2,562,244	2.1	0.42	96.5
1995年(7年)	125,570,246	61,574,398	63,995,848	1,959,079	1.6	0.31	96.2
2000年(12年)	126,925,843	62,110,764	64,815,079	1,355,597	1.1	0.21	95.8
2005年(17年)	127,767,994	62,348,977	65,419,017	842,151	0.7	0.13	95.3
2010年(22年)	128,057,352	62,327,737	65,729,615	289,358	0.2	0.05	94.8
2015年(27年)	127,094,745	61,841,738	65,253,007	-962,607	-0.8	-0.15	94.8
2020年(令和2年)	126,146,099	61,349,581	64,796,518	-948,646	-0.7	-0.15	94.7

1) 国勢調査による人口から内地外の軍人、軍属等の推計数を差し引いた補正人口

2) 1945年の人口調査による人口に内地の軍人及び外国人の推計数を加えた補正人口。沖縄県を含まない。

3) 沖縄県を除いて算出

東京都，神奈川県，埼玉県など8都県で人口増加，39道府県で減少

- 都道府県別の人口が最も多いのは東京都（1404万8千人）。人口上位8都道府県を合わせると6398万4千人で，全国の5割以上（50.7%）を占める。
- 東京圏（東京都，神奈川県，埼玉県，千葉県）の人口は3691万4千人で，全国の約3割（29.3%）を占める。
- 都道府県別の人口増加率が最も高いのは東京都（3.9%），次いで沖縄県（2.4%），神奈川県（1.2%）など8都県で人口増加。一方，39道府県で人口減少。また，33道府県で減少幅が拡大

図2 都道府県別人口（2020年）

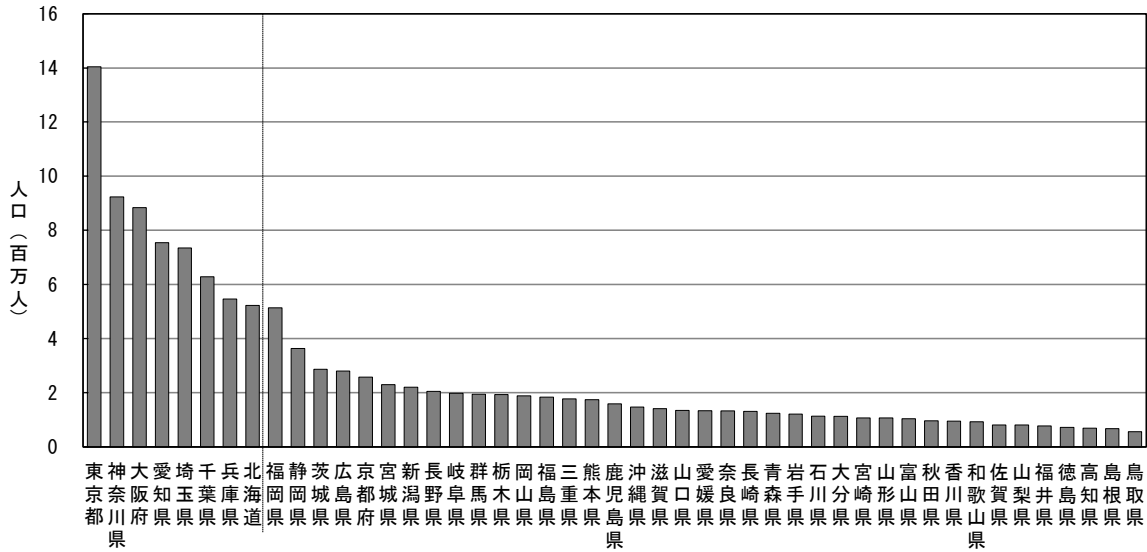
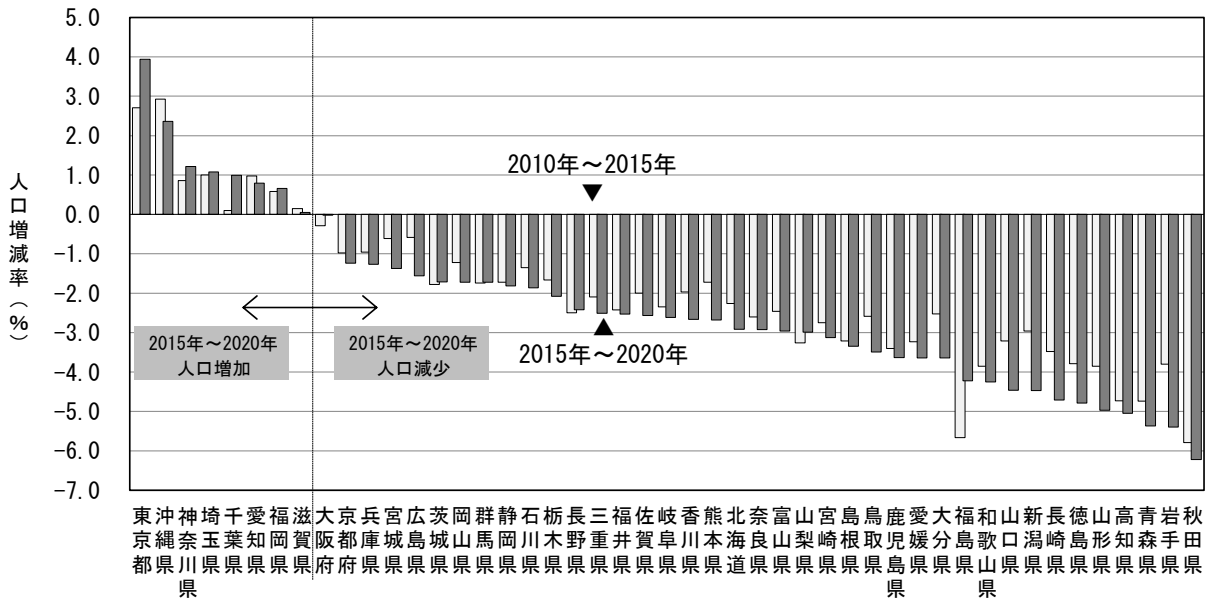


図3 都道府県別人口増減率（2010年～2015年，2015年～2020年）



全国 1,719 市町村のうち, 1,419 市町村 (82.5%) で人口減少

- 人口が減少したのは 1,419 市町村で, 全体の 82.5% を占め, 特に 5% 以上人口が減少した市町村は 51.3% と半数を超える。
- 人口増加数が最も大きいのは東京都特別区部 (46 万 1 千人), 次いで福岡県福岡市 (7 万 4 千人), 神奈川県川崎市 (6 万 3 千人) など。
- 人口減少数が最も大きいのは福岡県北九州市 (2 万 2 千人), 次いで新潟県新潟市 (2 万 1 千人), 長崎県長崎市 (2 万人) など。

表 2 人口増減率階級別市町村数の割合 (2005 年～2020 年)

人口増減率階級	市 町 村 数					市町村数の割合 (%)				
	2005年 ～2010年 (平成17年 ～22年)	2010年 ～2015年 (平成22年 ～27年)	2015年～2020年 ¹⁾ (平成27年～令和2年)			2005年 ～2010年 (平成17年 ～22年)	2010年 ～2015年 (平成22年 ～27年)	2015年～2020年 ¹⁾ (平成27年～令和2年)		
			総数	市	町村			総数	市	町村
総 数	1,728	1,719	1,719	793	926	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
人口増加	407	300	298	188	110	23.6	17.5	17.3	23.7	11.9
20.0%以上	1	1	4	0	4	0.1	0.1	0.2	0.0	0.4
10.0%～20.0%未満	17	10	6	3	3	1.0	0.6	0.3	0.4	0.3
5.0%～10.0%未満	70	31	30	12	18	4.1	1.8	1.7	1.5	1.9
2.5%～5.0%未満	107	78	85	60	25	6.2	4.5	4.9	7.6	2.7
0.0%～2.5%未満	212	180	170	113	57	12.3	10.5	9.9	14.2	6.2
人口減少	1,321	1,419	1,419	605	814	76.4	82.5	82.5	76.3	87.9
0.0%～2.5%未満	280	265	247	166	81	16.2	15.4	14.4	20.9	8.7
2.5%～5.0%未満	331	321	290	171	119	19.2	18.7	16.9	21.6	12.9
5.0%～10.0%未満	560	603	636	242	394	32.4	35.1	37.0	30.5	42.5
10.0%～20.0%未満	146	214	243	26	217	8.4	12.4	14.1	3.3	23.4
20.0%以上	4	16	3	0	3	0.2	0.9	0.2	0.0	0.3

注) 東京都特別区部は 1 市として計算

1) 2015年に人口が0人であった福島県富岡町, 福島県大熊町, 福島県浪江町は, 人口増減率階級の総数及び人口増加の総数にのみ含まれている。また, 2015年, 2020年共に人口が0人であった福島県双葉町及び2015年, 2020年共に人口が1,023人であった長野県大鹿村は人口増減率階級の総数にのみ含まれている。

表 3 人口増減数の大きい市町村の人口及び人口増減数 (2015 年～2020 年)

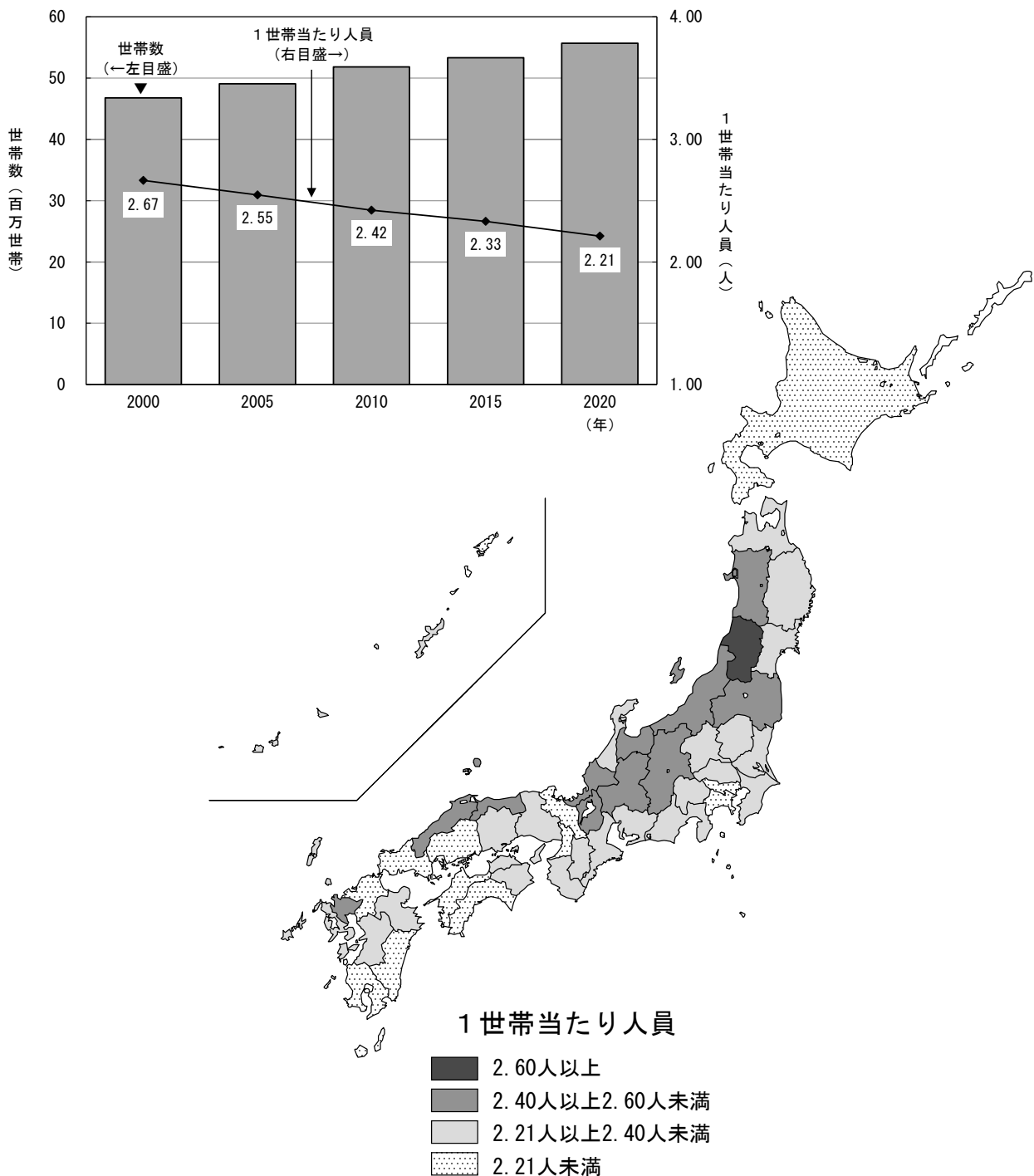
順位	人口増加数の大きい市町村	人口 (人) 2020年 (令和2年)	増加数 (人) 2015年～2020年 (平成27年 ～令和2年)	人口減少数の大きい市町村	人口 (人) 2020年 (令和2年)	減少数 (人) 2015年～2020年 (平成27年 ～令和2年)
2	福岡市 (福岡県)	1,612,392	73,711	新潟市 (新潟県)	789,275	-20,882
3	川崎市 (神奈川県)	1,538,262	63,049	長崎市 (長崎県)	409,118	-20,390
4	大阪市 (大阪府)	2,752,412	61,227	横須賀市 (神奈川県)	388,078	-18,508
5	さいたま市 (埼玉県)	1,324,025	60,046	いわき市 (福島県)	332,931	-17,306
6	横浜市 (神奈川県)	3,777,491	52,647	函館市 (北海道)	251,084	-14,895
7	名古屋市 (愛知県)	2,332,176	36,538	呉市 (広島県)	214,592	-13,960
8	流山市 (千葉県)	199,849	25,476	下関市 (山口県)	255,051	-13,466
9	札幌市 (北海道)	1,973,395	21,039	堺市 (大阪府)	826,161	-13,149
10	船橋市 (千葉県)	642,907	20,017	青森市 (青森県)	275,192	-12,456
11	川口市 (埼玉県)	594,274	16,162	佐世保市 (長崎県)	243,223	-12,216
12	市川市 (千葉県)	496,676	14,944	神戸市 (兵庫県)	1,525,152	-12,120
13	松戸市 (千葉県)	498,232	14,752	静岡市 (静岡県)	693,389	-11,600
14	つくば市 (茨城県)	241,656	14,693	福島市 (福島県)	282,693	-11,554
15	仙台市 (宮城県)	1,096,704	14,545	京都市 (京都府)	1,463,723	-11,460
16	調布市 (東京都)	242,614	13,553	高知市 (高知県)	326,545	-10,645
17	藤沢市 (神奈川県)	436,905	13,011	小樽市 (北海道)	111,299	-10,625
18	柏市 (千葉県)	426,468	12,514	日立市 (茨城県)	174,508	-10,546
19	吹田市 (大阪府)	385,567	11,099	旭川市 (北海道)	329,306	-10,299
20	明石市 (兵庫県)	303,601	10,192	釧路市 (北海道)	165,077	-9,665

一般世帯数は 5570 万 5 千世帯

一般世帯の 1 世帯当たり人員は 2.21 人で 2015 年に引き続き減少

- 一般世帯数は 5570 万 5 千世帯。2015 年と比べると 237 万 3 千世帯の増加
- 一般世帯人員は 1 億 2316 万 3 千人で、1 世帯当たり人員は 2.21 人となり、2015 年に引き続き減少
- 都道府県別の一般世帯の 1 世帯当たり人員は、山形県が 2.61 人と最も多い。一方、東京都が 1.92 人と最も少なく、全ての都道府県で減少

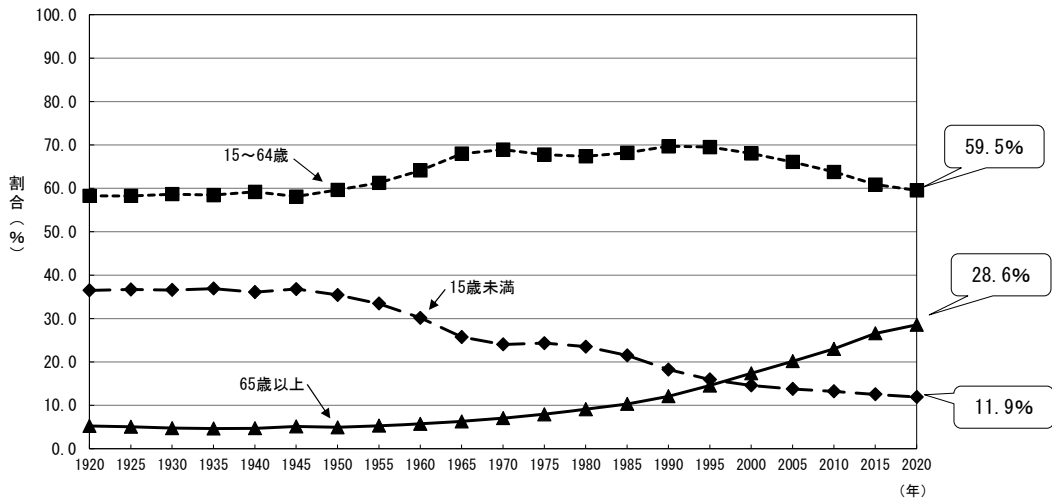
図 4 一般世帯数及び一般世帯の 1 世帯当たり人員の推移（2000 年～2020 年）及び都道府県別一般世帯の 1 世帯当たり人員（2020 年）



総人口に占める 65 歳以上人口の割合は 26.6%から 28.6%に上昇

- 15 歳未満人口は 1503 万 2 千人（総人口の 11.9%）、15～64 歳人口は 7508 万 8 千人（59.5%）、65 歳以上人口は 3602 万 7 千人（28.6%）

図 5 年齢（3区分）別人口の割合の推移（1920 年～2020 年）

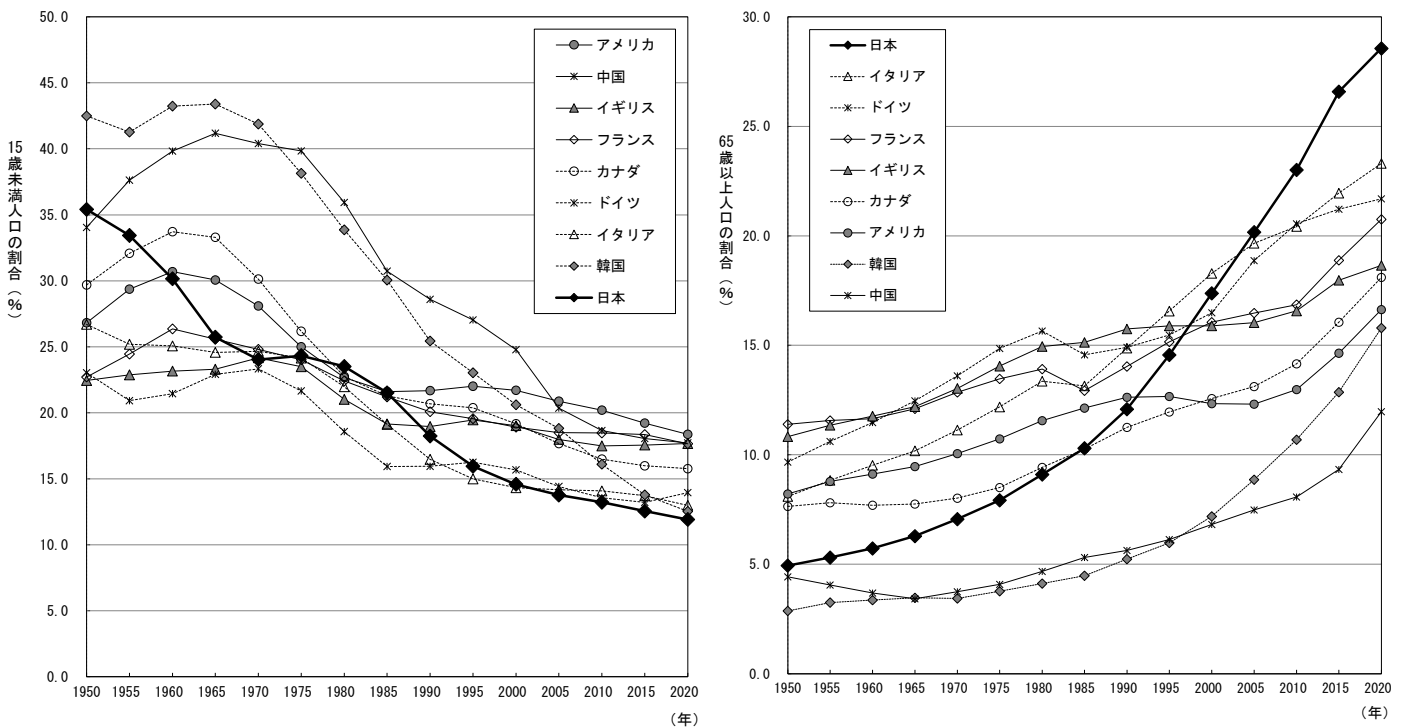


注） 2015年及び2020年は不詳補完値により算出。2010年以前は分母から不詳を除いて算出

15 歳未満人口の割合は世界で最も低く、65 歳以上人口の割合は世界で最も高い水準

- 総人口に占める 15 歳未満人口の割合を諸外国と比べると、我が国（11.9%）は韓国（12.5%）及びイタリア（13.0%）よりも低く、世界で最も低い水準
- 総人口に占める 65 歳以上人口の割合を諸外国と比べると、我が国（28.6%）はイタリア（23.3%）及びドイツ（21.7%）よりも高く、世界で最も高い水準

図 6 15 歳未満人口及び 65 歳以上人口の割合の推移—諸外国との比較（1950 年～2020 年）



資料：United Nations, "World Population Prospects, The 2019 Revision"による年央推計値。ただし、日本は国勢調査の結果による。

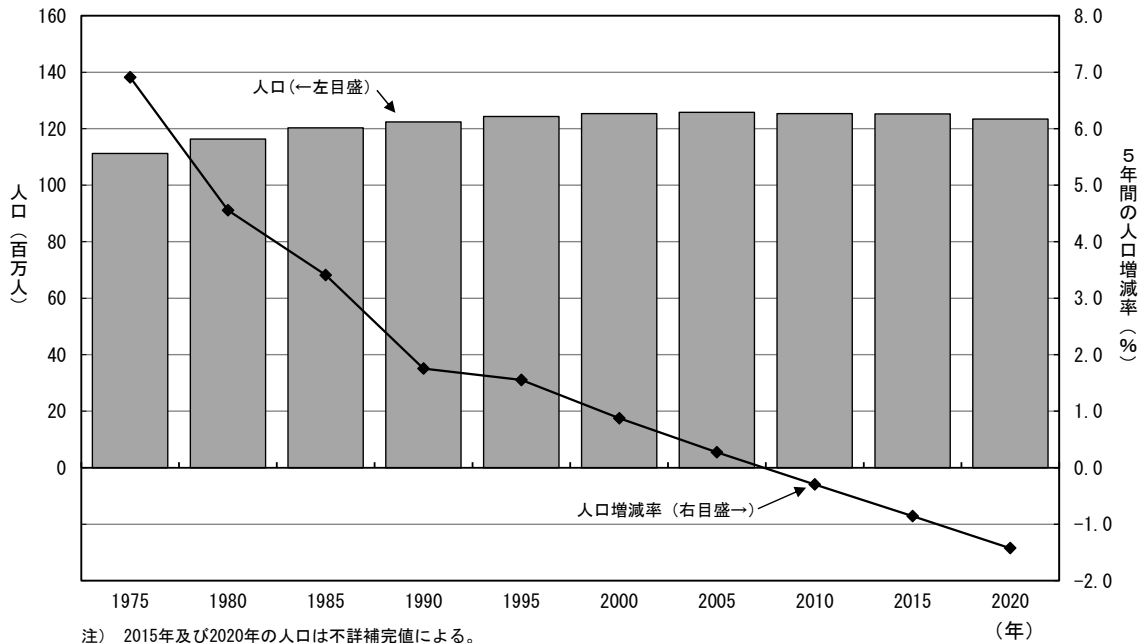
注） 日本の 2015 年及び 2020 年は不詳補完値により算出。2010 年以前は分母から不詳を除いて算出

日本人人口は1億2339万9千人（2015年から1.4%減，年平均0.29%減）

外国人人口は274万7千人（2015年から43.6%増，年平均7.51%増）

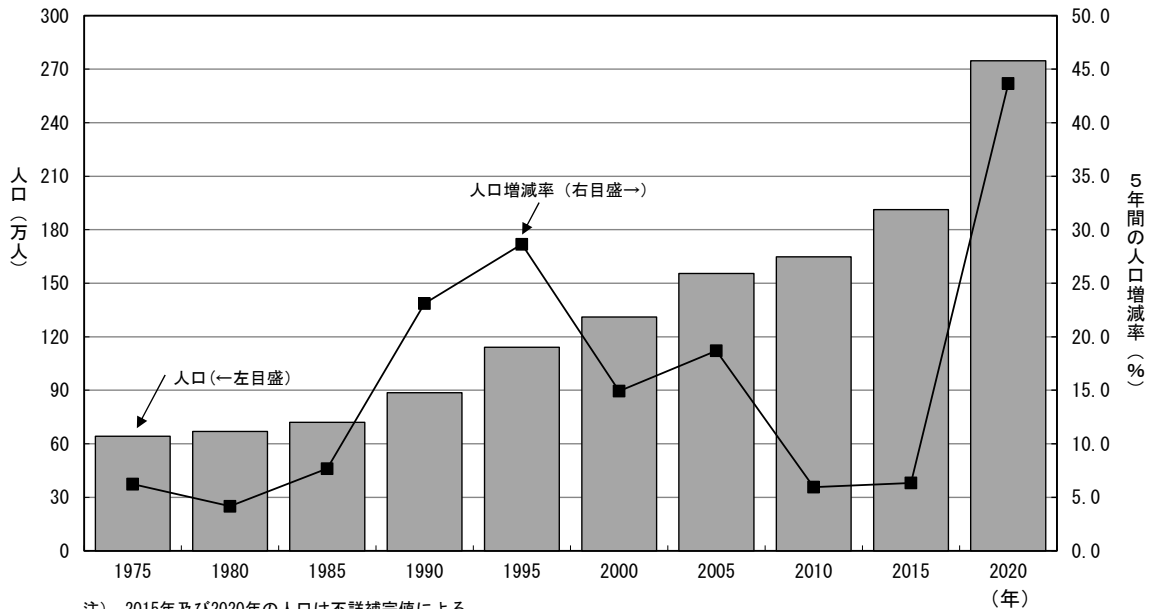
- 日本人人口は1億2339万9千人（総人口の97.8%）。2015年と比べると，178万3千人の減少（2015年から1.4%減，年平均0.29%減）
- 外国人人口は274万7千人（総人口の2.2%）。2015年と比べると，83万5千人の増加（2015年から43.6%増，年平均7.51%増）

図7 日本人人口及び日本人人口増減率の推移（1975年～2020年）



注) 2015年及び2020年の人口は不詳補完値による。
 なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

図8 外国人人口及び外国人人口増減率の推移（1975年～2020年）



注) 2015年及び2020年の人口は不詳補完値による。
 なお、2020年の人口増減率は不詳補完値により、2015年以前の人口増減率は原数値により算出

問合せ先 総務省統計局 統計調査部 国勢統計課 審査発表係
 TEL: 03-5273-1156 (直通) Eメール: c-shinsa@soumu.go.jp